

あかやま



第 **302** 号
学校だより363号

校長あいさつ (校長 常松 徹)



花冷えのする4月1日に校長として本校に赴任し、始業式、入学式をはじめとする新年度の諸行事をなんとか無事に終え、慌ただしくも三週間が過ぎました。生徒の皆さんは落ち着いた学校生活を送れているのでしょうか？1年生の皆さんは、初めての高校生活に慣れるので精一杯かもしれませんね。

今日は、先の始業式や入学式で話し足らなかったことについて書きたいと思います。まず、入学式では「凡事徹底」について話しました。入学式では「清掃」を例に話しましたが、ここでは「服装」について述べたいと思います。きちんとした服装(身だしなみ)は、相手の信頼感を得やすくしてくれます。外見は内面を反映します。だらしない格好をしている人は、内面もだらしないことが多いものです。最近ではあえて着崩すファッションもありますが、そんな格好を計算してできる人は、きちんと着崩しているものです。型があつての「型破り」であり、同じように見えても型がないものは「型破れ」です。徹底して型にこだわるその先にこそ、型破りの自由さがあるのです。内面から出てくる美しさが外見に表れてこそ、本物の美しさとして相手の目に映ります。

「挨拶・服装・清掃」という、普通にやれば単なる当たり前のことである「凡事」を徹底することによって、自分の内面を鍛え、その美しさが外見や所作に現れて、相手の心を動かすようになります。高校時代に凡事を徹底することは、高校を卒業してからの人生を有意義なものにしてくれる基礎となり、一生の財産となるはずですよ。

二つ目は「文武両道」についてです。多くの高校で「文武両道」を学校の目標に掲げています。本校でも「質実剛健」と「文武両道」の伝統を受け継ぎ、知・情・意の同化の理念に基づき、教育目標を定める」としてしています。高校生になると「文武両道」ができる体力と能力が育ち、その能力をさらに伸ばすことが大人になるには必要なことだと考えます。高校での「文武両道」で鍛える力とは、「学力・体力・気力」、そしてこの三つの力を最大限に発揮するための力＝「努力」です。これらの力は、大学や就職の受験を乗り越える力になるだけでなく、大人になって職業人と家庭人の両者のバランスを上手に取る力にもつながっていくのです。「二兎を追う者は一兎をも得ず」という諺がありますが、私は皆さんに敢えて「二兎を追え」と言いたいのです。今までの経験上、より上位の大学を目指し、難しい入試を突破していった生徒の多くは、勉強だけでなく部活動も一生懸命にやっていました。人間には、二兎どころか三兎も四兎も追う力があると思います。是非皆さんも勉強はもちろんのこと、部活動や生徒会活動、学校行事やボランティア活動など、いろいろなことに対して真剣に、全力で取り組んでほしいと思います。

「どうせ自分には無理」と最初から自分で限界を決めず、失敗を恐れなくて、むしろ「失敗」は「成長」のチャンス！と前向きに捉え、自分にできる最大限の努力でもって様々なことにチャレンジしてほしいと願っています。

最後に、無駄な「努力」などありません！

努力して成功すれば、自信になる
努力して失敗すれば、経験となる
努力しないで成功すれば、天狗になる
努力しないで失敗すれば、諦める



一年生の皆さんへ (1年学年主任 高橋 良子)

みなさんが北高生となってから約1か月が経とうとしています。3月27日、入学前オリエンテーションで皆さんに対し「良いスタートをきるために、良い準備をしてきてください」という話をしたことが遠い昔のことに感じます。北高での三年間はあっという間に過ぎていきます。どうか、共に学びあう仲間との日々を大切に過ごしてください。今回は、学年集会で伝えられなかった「私の人生を変えた話(その1)」をしたいと思います。

それは、私が小学校3年生の終業式の出来事です。一人の先生が壇上に立ち、離任の挨拶をされました。「僕は今日で皆さんとお別れします。僕は、「セイネンカイガイキョウリョクタイ」に参加して、アフリカに行きます。アフリカの子どもたちに勉強を教えに行くのです。僕が行く場所には、学校も机も椅子も教科書もノートも鉛筆もありません。広い大地に、木の棒で文字や数字を書いて勉強します。青空教室です。日本に比べると何も無いところかもしれませんが、勉強したくて目をキラキラさせている子どもたちが、僕が来るのを待っているのです…世界はとっても広いのです。」こんな内容であったと記憶しています。

純粋な小学生であった私は、先生の話に感銘を受け、「私も大きくなったら「セイネンカイガイキョウリョクタイ」ってやつに参加して、広い世界っていうのを見てみたい!」と思うようになりました。中学生、高校生になってもその思いは変わらず、広い世界に飛び出していくために、大学では、日本語教育と異文化理解教育・国際理解教育を専門に学びました。大学在学中に、「青年海外協力隊」の試験を受け、卒業と同時に訓練所に入所、3か月の訓練を経て、念願の青年海外協力隊員として中国と北朝鮮の国境地帯・延辺朝鮮族自治州に派遣されました。現地の学校で2年間日本語を教えていました。

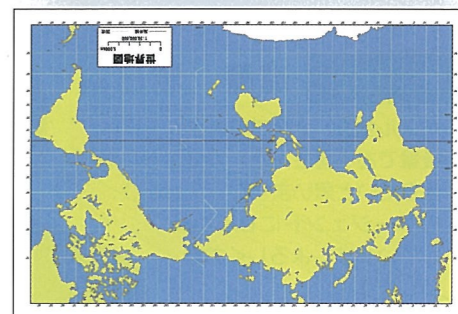
冬はマイナス30度にもなる極寒の地、かつて日本の支配下にあった地域での活動でした。現地の方々に大変お世話になり、たくさんの方々に支えていただき、私にとってかけがえのない有意義な時を過ごすことができました。青年海外協力隊の経験で学んだことは語り尽くせないほどたくさんあります。皆さんとの関わりの中で少しずつでも伝えていきたいと思っています。今回は、その中から、私が特に大切だと思うことをお伝えします。

“自分の物差しで人をはからない”

広い世界には様々な価値観があります。様々な文化があり、様々な人々が暮らしています。狭い自分の価値観＝自分の物差しだけで人を判断するのは残念なこと。いろいろあって、いろいろいて当然なのです。自分と違う考えや習慣に出会ったとき、「えっ??」と戸惑ったら、否定するのではなく、まず「どうして自分と違うのだろう??面白い!!」と試してみてください。それが異文化理解の第一歩です。きっと楽しい発見が待っています。そこが皆さんの世界、視野を広げることができるかどうかのポイントとなるような気がします。

クラスメイトも同じです。日本人、島根人、北高生とひとくくりにしがちですが、みんな一人一人違うのです。まずは、クラスメイト一人一人の違いを楽しんでみてください。「認めあい 学びあい 高めあう」皆さんであったほしいと願っています。続きのお話は、また授業で。

聞いてみたいこと等あれば、教育企画室(3F)に来てみてください。熱烈歓迎いたします。



ようこそ! 松江北高校へ着任教員ごあいさつ

4月に着任された先生方を紹介します! ①趣味 ②北高での意気込み を伺いました。

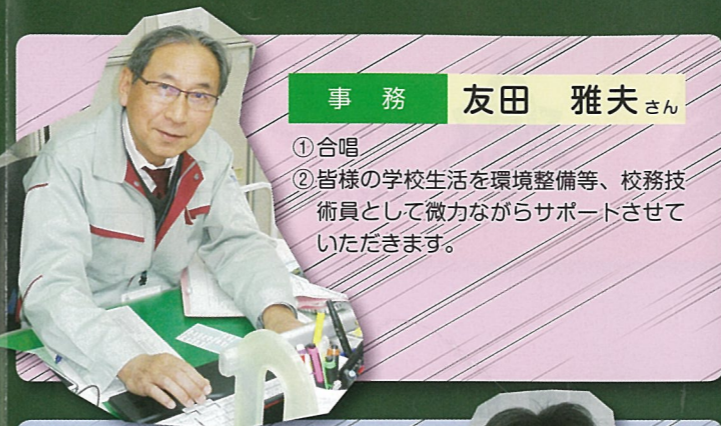
地歴(日本史) 田村 康雄 教頭先生

- ① 読書、音楽鑑賞
- ② 2度目のあかやま勤務です。先生方、生徒の皆さんと一緒に、北高をさらに魅力ある学校にしていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。



事務長 前田 京子 さん

- ① 音楽
- ② 廊下から聞こえてくる生徒の皆さんの声を聞く度に心が明るくなります。早く慣れて皆さんの役にたてるよう頑張りますのでよろしくお願ひします。



事務 友田 雅夫 さん

- ① 合唱
- ② 皆様の学校生活を環境整備等、校務技術員として微力ながらサポートさせていただきます。

数学 吾郷 治正 先生

- ① 音楽鑑賞
- ② もちろん不安もありますが、それ以上に、何が起るのか何ができるのかを考えるとワクワクしています。よろしくお願ひします。



国語 見越 正勝 先生

- ① 数独で脳トレ
- ② いろいろなことにみなさんと一緒に挑戦したいと思います。よろしくお願ひします。



数学 澄川 博之 先生

- ① ドライブ・温泉巡り
- ② 大規模校勤務は初めてですが、皆さんと一緒に学び、成長していきたいと思ひます。よろしくお願ひします。



理科(物理) 遠藤 雅己 先生

- ① パズル全般、ナブブロック
- ② 後輩である皆さんと、我武者羅に頑張りたいと思ひますし、久しぶりのページェントにワクワクしています。よろしくお願ひします。



保健体育 西尾 大樹 先生

- ① 野球について考える一応釣り
- ② 「継続」と「やらない後悔をしない」を目標に着実に頑張りたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。



公民 磯田隆一郎 先生

- ① 月並みですが、山歩きと読書です。
- ② これまた月並みですが、平常心でがんばります。よろしくお願ひします。



国語 杠 潤 先生

- ① 釣り
- ② 全力で文武両道に努めたいと思ひます。よろしくお願ひします。



英語 鎌田 愛啓 先生

- ① 料理/楽器
- ② 授業の内でも外でも北高生の魅力を感じています。英語の語源学習の楽しさを広めるという野望を胸に、みなさんと頑張っていこうと思ひます。



数学 境 健吾 先生

- ① 旅行、スポーツ観戦
- ② 数学が少しでも楽しいと感じられる生徒が増えるよう頑張ります。よろしくお願ひします。



公民 大内 梢 先生

- ① 歌を歌うこと
- ② 私が慌てて走っていても、いつも明るく爽やかな挨拶してくれる皆さんに感謝しています。私も皆さんの元気を源になれるよう、笑顔で過ごしていきたいと思ひます。一緒に充実した高校生活を送りましょう!



実習教員 梶谷 泰子 先生

- ① 茶道、書道
- ② 久しぶりの大規模校勤務で、皆さんのすごいパワーを感じています。負けないように頑張ります。よろしくお願ひします。



数学 富田 一志 先生

- ① トレラン(山の中を走り回ること)、ボルダリング(壁を登ること)
- ② 13年ぶりに母校に帰って参りました。以前ほどのパワーはありませんが、気力で頑張ります。



養護教諭 大賀美尚子 先生

- ① 読書、うたうこと
- ② みなさんが元気に笑顔で毎日過ごせるよう頑張ります。よろしくお願ひします。



地歴 原田 宏 先生

- ① カーブ応援団です。(今年は無理かも/4月末現在)サンフレッチェに期待。
- ② 島根県立松江北高等学校の教育方針の一つに「平和を愛し、日本社会、国際社会の有用な人材となる生徒を育てる」がある。本校は第25、28代首相若槻礼次郎、第74代首相竹下登の両先生をはじめとして多くの偉大な人材を輩出してきた。英文学者であり、世界的な平和運動家としても知られ、第6代日本女子大学学長の上代タノ先生も、本校の前身である松江市高等女学校の卒業生である。出身地である雲南市大東町の墓石の碑文には、「故郷を愛す 国を愛す 世界を愛す」の碑文が刻まれている。この教育理念こそが、今の日本の教育に求められていると確信している。生徒諸君と夢を語り合えたらと思っている。



家庭 三澤あゆみ 先生

- ① 料理、スポーツ観戦(特にサッカー)
- ② 初めての大规模校勤務で不安もありますが、皆さんと一緒に学び、成長していきたいです!よろしくお願ひします。



数学 足立 芳樹 先生

- ① ゴルフ、旅行
- ② 1年後、「数学を足立というしょに勉強して良かった」と、生徒の皆さんに思ってもらえるよう頑張ります。よろしくお願ひします。



理科(物理) 田中 志宜 先生

- ① ランニング、サイクリング
- ② 隠岐高校から赴任して参りました。人情の花咲く島で出会った人々からおすそわけしてもらった温かな心を忘れずに頑張ります。よろしくお願ひいたします。

